

## B 型肝炎母子感染防止事業の実態に関する研究 (分担研究： B 型肝炎母子感染防止に関する研究)

衛藤 隆\*

要約： 郵送による質問紙法により本事業を実施する自治体のうち第3回B型肝炎ワクチン後のHBs抗体検査を実施しているという情報の得られた10都府県および34政令市・特別区に対し調査を行った。回収率90.9%で、妊婦HBs抗原検査の実施率は90.4%であった。第3回ワクチン接種後のHBs抗体検査を受けた者のうち、第4回ワクチン接種を受けた者の割合は18.9%であった。

見出し語： B型肝炎、B型肝炎母子感染防止事業、自治体調査

研究方法： 昭和61, 62年度の本研究班の調査にて、本事業の第3回B型肝炎ワクチン後のHBs抗体検査を実施しているという情報の得られた以下に示す10都府県および34政令市・特別区（以下「対象自治体」）に調査票を郵送し、昭和63年1月1日より9月30日までの9ヵ月間の本事業に関わる各検査の受検者数、各処置の被投与者数、被接種者数等についての

回答を得、分析・検討した。

調査票送付先： 岩手県、宮城県、東京都、神奈川県、石川県、福井県、静岡県、京都府、山口県、佐賀県、仙台市、東京23特別区、横浜市、川崎市、金沢市、岐阜市、静岡市、浜松市、神戸市、和歌山市、下関市、長崎市

結果： 回収率は都府県（7/10, 70.0%）、政令市・特別区（33/34, 97.1%）、全体として（40/44, 90.9%）であった。

妊婦のHBs抗原検査受検者数の妊娠届出数に対する割合をみると、都府県で

---

\* 国立公衆衛生院母性小児衛生学部  
(Department of Maternal and Child Health, the Institute of Public Health)

93.3%、政令市・特別区で88.3%、対象自治体全体で90.4%であった。調査対象期間中の妊婦HBs抗原検査受検者数が妊娠届出数を上回っている所が1県2市1区に認められた。これらの内、1県1市では、その差の妊娠届出数に対する割合が20%を越えていた。逆に妊婦HBs抗原検査受検者数が妊娠届出数を上回っている自治体の中でその差が妊娠届出数の20%を越えている所は1市7区あった。

回答のあった40自治体のうち、妊婦HBs抗原検査受検者数の回答があったのは39自治体であり、妊婦HBs抗原陽性者数の回答があったのは30自治体であった。これらのデータより妊婦HBs抗原陽性率を求めると1.0%であった。

同様に、妊婦HBe抗原検査については40自治体全てから回答を得、HBe抗原陽性者数については36自治体から回答を得た。HBs抗原陽性妊婦におけるHBe抗原陽性率は25.2%であった。

新生児HBs抗原検査およびHBs抗原陽性者数については、各々39、32自治体より回答を得た。新生児HBs抗原陽性率は4.1%であった。

乳児HBs抗原検査およびHBs抗原陽性者数については、各々39、30自治体より回答を得た。乳児HBs抗原陽性率は2.9%であった。

第3回B型肝炎ワクチン接種後のHBs抗体検査について回答の得られた自治体数は35であり、また、第4回B型肝炎

ワクチン被接種者数についての回答が得られたのは32自治体であった。第3回ワクチン接種後のHBs抗体検査を受けた者のうち、第4回ワクチン接種を受けた者の割合は18.9%であった。(表1, 表2)

考察： 昭和61、62年度に本研究班で実施したB型肝炎母子感染防止事業実態調査から、第3回ワクチン接種後にHBs抗体検査を制度として実施し、さらには抗体反応不良者に対して第4回ワクチン接種を行っている自治体が存在することが判明した。今年度は、これらの自治体に対象を限定して本事業の実施状況およびその成果について調査した。

本事業の実施率を推定するために、妊娠届出数と妊婦HBs抗原検査受検者数を調査対象の各自治体毎に比較してみた。全体としてみると90.4%の実施率という結果であるが、自治体毎にかなり変動があり、一部の自治体では検査を受けた妊婦数が妊娠届出数を上回っており、2つの統計をとる時期に違いはあるものの、いわゆる里帰りその他の理由による流入の影響も考えられる。

妊婦のHBs抗原陽性率は前2年度の調査に比較して低値を示しているが、元々かなり地域差が認められるので、調査対象が縮小したためのことと理解され、この1年間で急速にHBs抗原陽性率が低下したのではないと判断される。

今回の調査の主要な目的である第4回ワクチン接種率については、対象自治体全体で18.9%、都府県が37.6%、政令市・特別区が14.3%であり、過去2年度の調査に比較し政令市・特別区では低くなっている。しかし、これも自治体毎にかなり変動があり、最高70.8%に達している所もある。この数値をもってワクチンの効果を云々することは危険であり、公費負担制度が積極的に活用されている一断面

をみていると理解される。

### 文献

- 1) 衛藤 隆ら：B型肝炎母子感染防止事業の成果：臨床とウイルス, 16, 282, 1988.
- 2) 衛藤 隆ら：B型肝炎母子感染防止事業の実状：産婦人科の実際, 38, 1, 1989.

表1 B型肝炎母子感染防止事業実態調査集計結果(1)

	昭和63年度調査	回答自治体数
調査対象期間	S. 63. 1. 1-9. 30	
回収率		
都府県	7/10 (70.0%)	
政令市・特別区	33/34 (97.1%)	
計	40/44 (90.9%)	
〔妊婦〕		
妊娠届出数	240,821	40
HBs抗原検査受検者数	207,199	39
HBs抗原陽性者数	1,482	30
HBe抗原検査受検者数	2,272	40
HBe抗原陽性者数	495	36
〔新生児・乳児〕		
新生児HBs抗原検査受検者数	468	39
新生児HBs抗原陽性者数	16	32
第1回HBIG被投与者数	459	40
乳児HBs抗原検査受検者数	448	39
乳児HBs抗原陽性者数	10	30
第2回HBIG被投与者数	476	40
第1回777/接種者数	471	40
第2回777/接種者数	478	40
第3回777/接種者数	466	39
第3回777/検査受検者数	691	35
第4回777/接種者数	120	32

表2 B型肝炎母子感染防止事業実態調査集計結果(2)

妊婦HBs抗原受検率	207,199/229,181 (90.4%)
妊婦HBs抗原陽性率	1,482/141,315 (1.0%)
HBs抗原陽性妊婦HBe抗原陽性率	495/1,966 (25.2%)
新生児HBs抗原陽性率	16/394 (4.1%)
乳児HBs抗原陽性率	10/360 (2.9%)
第4回777/接種率	120/635 (18.9%)

注：表1と数値が異なるのは、分母、分子共に回答が得られたデータを用いて計算したためである。



## 検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



要約：郵送による質問紙法により本事業を実施する自治体のうち第3回B型肝炎ワクチン後のHBs抗体検査を実施しているという情報の得られた10都府県および34政令市・特別区に対し調査を行った。回収率90.9%で、妊婦HBs抗原検査の実施率は90.4%であった。第3回ワクチン接種後のHBs抗体検査を受けた者のうち、第4回ワクチン接種を受けた者の割合は18.9%であった。